

「和菓子店の軒数が減る一方で、全国には元気のよい和菓子屋があり、正直心強く感じている」と話すのは、全国穀類工業協同組合の黒田寛理事長。代表をつとめる日の本穀粉が昨年、創業130年を迎え、これまでお世話になった和菓子店を回る中での感想だ。減反制度の廃止や米粉の輸出拡大など、穀粉を取り巻く状況は大きく変化している。黒田理事長に穀粉業界の現状と課題を聞いた。



全国穀類工業協同組合 黒田寛 理事長

日本の食文化を守る

ここ3年あまり全国の和菓子店を回る中で、実際に自分の目で見て、生の声を聞かせていただいた。若手の和菓子屋が切磋琢磨（せつさたくま）する姿などをみると、わが業界も長いこと日本の

食文化を守る一翼を担ってきたと心強く感じている。最近は大手百貨店で和菓子に関するイベントも多く開催され、全国各地の力強い和菓子屋が業界を盛り上げていく機運があることを心強く思う。

が、種まきの段階だと思っている。

これまで穀粉業界は、問屋が末端ユーザーの生の声を聞き対応していたが、今はわれわれ原料メーカーが末端業界に入っていくようになった。原料メーカー

あるという。当社では昨年の新米から、中以上の米粉に10kgサイズを新たに追加、量目

幅を持たせてお客さまのニーズに添えていく。和菓子以外の新規用途のユーザーの場

輸出していたが、価格が安いとの理由でフランスのどんぐんメーカーに置き換えられてしまった。日本の米粉を海外で販売するにあたり、政府には思い切った対策を立てていただきたい。

3〜5年計画で徐々に切り替えていけるよう進めていきたい。

「原料米」対策が最大の課題

和菓子の原料である穀粉について、全体の生産量は減っているが、「本物志向」とい

うとの声もあり、末端ユーザーが使いやすい量目というのも必要だと感じている。

原料米の共同購入も

原料手当ては今後、組合にとって最も大きな問題になっていくだろう。自分たちで苦慮して対策を立て、解決していききたい。

うか、地域産米を使った地産地消の米粉など、差別化された取組みも増えている。現段階では費用対効果でプラスになっていない

聞いた話では、業界に入った若い人が20kg、30kgといった大袋の上

輸出のネックは「価格」

いま、海外からの観光客やインバウンド需要が増え、2020年

和菓子屋を回る中で

ただ、ネックとなるのが価格だ。他国のも

全国の組合員が抱える一番の問題は「原料

今年から減反制度

カーと流通、末端ユーザーの縦の線を太くする

目の一つに挙げてい

原料米の共同購入も

今年から減反制度

が、和菓子屋を回る中で

ただ、ネックとなるのが価格だ。他国のも

全国の組合員が抱える一番の問題は「原料

今年から減反制度

聞いた話では、業界に入

ただ、ネックとなるのが価格だ。他国のも

全国の組合員が抱える一番の問題は「原料

今年から減反制度

聞いた話では、業界に入

ただ、ネックとなるのが価格だ。他国のも

全国の組合員が抱える一番の問題は「原料

今年から減反制度

聞いた話では、業界に入

ただ、ネックとなるのが価格だ。他国のも

全国の組合員が抱える一番の問題は「原料

今年から減反制度

聞いた話では、業界に入

ただ、ネックとなるのが価格だ。他国のも

全国の組合員が抱える一番の問題は「原料

今年から減反制度

聞いた話では、業界に入

ただ、ネックとなるのが価格だ。他国のも

全国の組合員が抱える一番の問題は「原料

今年から減反制度

聞いた話では、業界に入

ただ、ネックとなるのが価格だ。他国のも

全国の組合員が抱える一番の問題は「原料

今年から減反制度

聞いた話では、業界に入

ただ、ネックとなるのが価格だ。他国のも

全国の組合員が抱える一番の問題は「原料

今年から減反制度

聞いた話では、業界に入

ただ、ネックとなるのが価格だ。他国のも

全国の組合員が抱える一番の問題は「原料

今年から減反制度

聞いた話では、業界に入

ただ、ネックとなるのが価格だ。他国のも

全国の組合員が抱える一番の問題は「原料

今年から減反制度

聞いた話では、業界に入

ただ、ネックとなるのが価格だ。他国のも

全国の組合員が抱える一番の問題は「原料

今年から減反制度

聞いた話では、業界に入

ただ、ネックとなるのが価格だ。他国のも

全国の組合員が抱える一番の問題は「原料

今年から減反制度

聞いた話では、業界に入

ただ、ネックとなるのが価格だ。他国のも

全国の組合員が抱える一番の問題は「原料

今年から減反制度